英語技能別演習：再履修　第3回

会話を続ける／文の切り方／班で英文をつくる

志柿 浩一郎
Koichiro Shigaki

2026年度 秋学期　木曜4限（10/29）

今日やること

3週間ぶりの授業。まず課題の整理から

- 課題の整理：定期的に出すのは「班で作った英文を音読する」。最初の締切は11月11日（水）
- 質問して会話を続けるゲーム（第2回の最後の続き。10秒止まる・要らない日本語でアウト）
- チャンク・リーディング：文をどこで切って読むか（第2回の続き）と、シャドーイングを1回
- 班の番号を選んで、班で英語で話したいことを決める。英文を書き始める

3週間ぶりなので、課題の整理から

10月16日のお知らせと同じ内容です

定期的に出す課題：班で作った英文を音読する

月に1回。出す場所は、メニューの「グループの課題」

	①	②	③	④
締切	11/11（水）	12/2（水）	12/23（水）	1/20（水）

- 班で「英語で話したいこと」を決めて、班で英文にする（100〜150語が目安）。
- 先生やAIが英文を作るのではなく、班が書いた英文が課題になる。AIは間違いと直し方の案を返すだけ。
- その英文の見本の音声をまねて、一人ひとりが3回以上録音して出す。締切の時刻はどれも23時59分。

11月11日（水）までに出すもの

木曜クラスは2回授業がなかったので、ここにまとめています

- 班で作った英文を音読する①（グループの課題）
- 課題A　読んで、自分のことを書く
- 課題B　2週間、プラットフォームで練習して書く
- 操作に慣れるための課題①②（見本を聴いて、まねて録音する）
- テーマ音読は、もう出さなくてかまいません。出した人の記録は残り、評価に入ります。第2回で話した「まねて言う課題を毎週日曜に出す」も、締切のない毎週の練習になりました。

さあ自己紹介したぞ、聞いたぞ。その次は？

All right, I told about myself, others told about themselves.

Then, what's next?

第2回の最後の続き。自己紹介のあと、会話を続ける

ほんとうに内容聞いてた？聞けた？

自己紹介したあと会話が止まるのは、英語力の問題ではない

- 相手の自己紹介、いま言えますか。名前、していること、好きなこと。
- 自己紹介したぞ、聞いたぞ、で止まるのは、たいてい相手の話を覚えていないから。返す材料がない。
- 練習方法：最初はキーワードをメモる → あとで質問したり確認したりできるように。

なぜ「時間いっぱい続ける」練習をするのか

英語の会話でいちばん困るのは、文法の間違いではなく沈黙

- 自己紹介はできても、そのあと何を言えばいいか分からなくて止まる。たいていそこで終わる。
- 続けるのに必要なのは、むずかしい英語ではなく、質問を返すことと、つなぎの一言。
- 同じ話を相手を替えてくり返すと、2回目、3回目と言える量が増える。時間を決めて、止まらずに続ける練習をゲームでやります。

質問には2つの型がある

Closed-ended と Open-ended。両方混ぜると、会話が続く

Closed-ended question

はい／いいえ、または答えが限られる。確かめる・絞りこむときに使う

Do you live in Sapporo?

Are you in a club?

Which one, A or B?

Open-ended question

答えが人によっていろいろ出る。話を広げるときに使う

What was it like?

How did you get into it?

Why do you like it?

Mix both questions to keep conversation going

会話・対話を継続するには、両方の質問型を使用して継続する

両方混ぜると、会話が続く。このあと、ゲームでやります

止まりそうなときの、つなぎの一言

沈黙しそうになったら、どれか1つを言えばいい

相手に返す

How about you?

What do you think?

Me too! / Really?

広げる

Tell me more about ___.

Why do you like it?

What was it like?

時間をかせぐ

Let me see...

Good question.

Sorry, one more time?

ゲーム：質問して、会話を続ける

ルールは2つだけ。アウトになったら、その回の最初からしきりなおし

- アウト①：10秒、誰も何も言わなかったら。
- アウト②：要らない日本語を使ったら。人の名前・地名・店の名前など、英語にしようがないものはOK。
- 英語が出てこないときは How do you say ○○ in English? と聞けばいい。これはアウトにならない。
- アウトかどうかは、ペアで自分たちで判定する。タイマーは画面に出します。

ゲームの進め方：1分半 → 2分 → 3分

相手を替えながら、長くしていく。アウトになったら、その回の最初から

1回目　1分半

ペアで。テーマは**自分のこと**。自己紹介から始めて、相手は質問で返す。

2回目　2分

相手を替える。テーマは**自分で選ぶ**（下の例から、または自由に）。

3回目　3分

また相手を替えて、2回目と同じテーマで。同じ話をくり返すと、言える量が増える。

- 2回目から選べるテーマの例：好きなもの／最近見た動画・ドラマ／北大に来た留学生にすすめたいもの／最近やったこと
- 10秒止まる、または要らない日本語でアウト。しきりなおして、その回の最初から。

最後に：相手を英語1文で紹介する

ちゃんと聞いていたかは、ここで分かる

- 最後の相手のことを、別の人に英語1文で紹介する。例）She has a cat named Mochi, and she wants a second one.
- 言えなかったら、次はキーワードをメモしながら聞く。それが会話を続けるコツです。
- ふりかえり（1分）：言えなかった言い方を1つメモして、あとで調べる。ポートフォリオに書いていい。

Chunk reading　チャンク・リーディング

第2回の続き。文をどこで切って読むか

どこで切るか

意味のかたまりで切る。切ったところで、息をつぐ

- コンマ・ピリオドのところ。
- 前置詞の前（in / at / for / with / to など）。
- つなぐ語の前（and / but / because / when / that / who など）。
- 主語が長いときは、主語のあと。

例

I came to Sapporo / two years ago / because I wanted to study / at Hokkaido University.

The friend I met in the club / took me / to a small café / near the station.

やってみる：見本の音で確かめる

切り方に正解は1つではない。見本の読み方を手がかりにする

- 学習プラットフォームで「操作に慣れるための課題①」を開く。文を押すと、その文だけ鳴ります。
- 1文を選んで、見本が息をつぐところ・少し間があくところに / を入れる（ノートやメモでいい）。
- ペアで、入れた / を比べる。違ったところは、もう一度聞いて確かめる。
- その切り方で、見本をまねて声に出す。かたまりごとに、ひと息で。

シャドーイングを、みんなで1回

学習メニューの「シャドーイング」。今日は At a Café（カフェで注文する）

- 音読は、自分のペースで読む練習。シャドーイングは、流れている音を1秒ほど遅れて追いかける練習。
- 1回目：文字を見ないで、聞くだけ。
- 2回目：文字を見ながら、1秒遅れで小さい声で追う。
- 3回目：文字を見ないで追う。全部言えなくていい。音に乗れたところを増やす。

班で英文をつくる

11月11日締切の①を、今日始めます

まず、班の番号を選ぶ

班は、教室の席で決まります。番号は教室で言います

- メニューの「グループの課題」→「班で作った英文を音読する①」を開く。
- 「いまの班」で、自分の班の番号を選ぶ。同じ番号を選んだ人が、同じ班です。
- 班の英文・録音・コメントは、同じ班の人と先生にだけ見えます。
- 席替えは月に1回。席替えのあとは、新しい班の番号を選び直す。前の班の記録は残ります。

班で、英語で話したいことを決める

テーマは何でもいい。班の全員が話しやすいものから

- 自分たちの興味関心のあること（班の全員が楽しめそうなもの）。
- 大学の専攻に関係すること。ちょっとした日常の問題（一人暮らしか実家暮らしか、など）。よく聞く社会の話題。
- 決めたことは、「班で話したいこと」の欄に日本語でメモしてかまいません。
- 100〜150語が目安。短い文をつなげばいい。むずかしい言い方はいらない。

書いて、直して、まねて録音する

AIは直すところを教えるだけ。直すかどうかは班が決める

1　班で書く

自分たちの英語で書く。
誰が打ち込んでもいい。保存すると、班の全員に反映されます。

2　直す

保存すると、AIが間違いと直し方の案を返す。
案を読んで、直すかどうかを班で決める。

3　まねて録音

見本の音声を聞いて、まねて、一人ひとりが3回以上録音。
班に聞いてほしい録音を「班に見せる」にして、ひとこと書き合う。

- 読み上げではなく、まね。今日の切り方で、かたまりごとに。

次回から、教室ではこう進めます

列ごとの班で、4つの練習を交代でやります（20分ほどで交代）

シャドーイング

見本の音を、班で聞いて、追いかける。どう聞こえるかを班で確かめる。

会話の練習

今日のゲーム。先生も入ります。

課題の準備

班の英文を書く・直す・まねて録音する。

AIを使った練習

学習プラットフォームで、AIと会話する。

- その間、先生は回って、英語の質問に一人ずつ答えます。

次回（11/5）までの課題

授業サイトにも書きます

- 班の英文を保存する（班で）。保存したら、見本の音声をまねて録音してみる。締切は11月11日（水）。
- 課題A・課題B、操作に慣れるための課題①②。どれも11月11日（水）。
- シャドーイング：3本（At a Café／Asking the Way／Running into a Friend）のどれかを、毎週続ける。
- 「ポートフォリオ」に、授業外で英語に触れた記録を1つ。

質問ある？

授業のあとでも、メールでも